

全体講評： 難易度、分量ともに昨年並。ただし受験生によっては分量を多く感じる人もいるだろう。各問良い解法が選ぶことができているならば問題ないのだが、選択を誤ると時間を大きく消費しかねないので注意が必要。		試験時間	120 分	
		難易変化	易化 / 昨年並 / 難化	
		分量変化	減少 / 昨年並 / 増加	
大問	区分	内容	講評	レベル
問 1	数 A	確率	基本通り丁寧に場合を分けて考えれば標準的。ただし計算量は多いので落ち着いて取り組みたい。	★
問 2	数 B	数列	具体的に書き上げて性質を読み取りながら答案につなげたい。目新しく感じるかもしれないがこれも標準的。	★
問 3	数 A	整数問題	理系の問 3 参照	★
問 4	数 II	微分法・積分法	(1)の最小値を求めるのに相加・相乗の関係を利用する。慣れておきたい。(2)では不等式の処理には要注意。結論にまで影響が及ぶ。	★
学習指針： 日頃問題を解いているときに、最後まで自分自身の手で計算をやりきることが重要。解答を見て、計算もせずに分かった気になっていても入試では通用しない。理系同様、難問を追いかける必要はあまりないが、丁寧な勉強を心掛けたい。			※ 難易変化、並びに分量変化は対昨年比と なっています。 ※ レベル表示は次の区分になります。 難 → ★★★★★ やや難 → ★★★ 標準 → ★ やや易 → (無表示) 易 → (無表示)	